

第7回 スペシャルオリンピックス 日本夏季ナショナルゲーム 愛知で大活躍

9月22日(土)～24日(月)までの間、愛知県で全国から約1,000人のアスリートが参加し、ナショナルゲームが開催されました。

鳥取県から参加のアスリートの皆さんは、全員がメダルを獲得するといった快挙を達成しました。アスリートの皆さんの活躍を皆で喜ぶとともに、お世話をいただきましたコーチの皆さんにお礼を申し上げます。皆さんおめでとうございます。



選手団の知事表敬訪問

8月29日(水)に大会への抱負や意気込みについて述べるために知事を表敬訪問しました。



江口かおりさんが2019年世界大会のコーチに就任

江口かおりさんが2019年3月にアラブ首長国連邦アブダビで開催される予定の世界大会の競泳コーチに選ばれました。前回のロサンゼルス大会でのコーチとしての実績が高く評価されたものです。ご活躍をお祈りいたします。

卓球 コーチクリニック 7月1日(日) ゆりはま大平園

SON・岡山の小宮山幸治トレーナーとSON・千葉の前浪祐吾トレーナーを講師にして、ゼネラルオリエンテーション、アスリート理解、卓球競技、実技について学びました。

今回の参加者は20名で、全員が最後まで熱心に受講され、修了書が授与されました。今後のスポーツプログラムでの活躍が期待されます。



地区大会

卓球競技

6月24日(日) ゆりはま大平園体育館
鳥取、倉吉、米子の各プログラムから24名のアスリートが参加し、決勝では6つのディビジョンに分かれて、順位を競いました。

ボウリング競技

7月15日(日) 鳥取スターボウル
11名のアスリートが参加し、6つのディビジョンで競技が行われ、3ゲームのトータルスコアで541点の高得点を取るアスリートもいました。



「ユニス・ケネディ・シュライバー・デー」 フットサル体験交流会 9月15日(土) ゆりはま大平園体育館

ガイナレ鳥取及び鳥取県サッカー協会の協力により、アスリート、ファミリー、ボランティアなど約60名が参加して、フットサル体験交流会を開催しました。

前半のアイスブレイクではキックの練習、後半のフットサルの試合ではガイナレ鳥取の選手も一緒に混ざってプレイし、ボールを蹴る楽しさを参加者みんなで味わいました。



市原副理事長がご逝去されました

6月27日 市原徹副理事長がお亡くなりになりました。市原副理事長には鳥取県のスペシャルオリンピックス活動のスタート時点から本当にお世話になりました。

ご病気と分かれてからもバドミントンのプログラムを立ち上げ、ヘッドコーチに就任いただくなど、最後までスペシャルオリンピックス活動に力を入れていただきました。

皆様とともにお礼と心からのご冥福申し上げます。